

令和5年度 第4回 井田川小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年1月24日（水）15:00～16:25

2 場 所 多目的室

3 あいさつ（委員長，学校長より）

- ・委員長より 活発な議論をお願いしたい。
- ・学校長より 雪の中，ご参加いただき，感謝している。本日は，今年度の教育活動の振り返りをさせていただくため，担当者も参加させていただいている。ご意見ご質問等よろしくをお願いしたい。

4 熟議内容

(1) 学校関係者評価についての意見交換

- ・各担当者からの今年度の取り組み報告

評価項目1「学力向上について」(研修担当)

【委員より】

- ・読書ゆうびんとは何か？

→自分のおすすめの本を友達に紹介するために，はがきを書いて渡すものである。

- ・教員同士で話し合い，情報交換しながら取り組んでいる様子が分かる。今後もチーム井田川を継続していただきたい。

- ・読書活動は，理解力の向上につながり，違う人生観，世界観を培う。本の中の世界を広げてほしい。

- ・読書の時間が一日10分以上の児童の割合が少なくなっている。

→冊数については，学年によっては，昨年度は読み終わっていないのに，借りに行っている児童がいたので，多かった。一人当たりの貸出冊数は1月23日現在で，68冊である。

- ・読んでいる本の内容はどういったジャンルか？

→1年生は絵本やなぞなぞが多い。3年生は国語で「ありの行列」を学習しているため，科学読み物を教室に置き，並行して紹介している。

昨年度の高学年は，「〇〇のふしぎ」シリーズがあるので，エアコンのふしぎや外壁のふしぎ，世の中のふしぎなどを読んでいる子もいた。知的好奇心を満たすものが好きになってくる。

- ・一冊も読んでいない子はいないか？

→「週に1回借りよう」と授業で呼びかけている。しかし，一方で外遊びの好きな子がいて，休み時間に外遊びに行く子もいる。

- ・本を読むと読解力がつく。理解して読むようになってほしい。

→週に1度，高学年は読売新聞の切り抜き，中学年は中学年の切り抜きのワークシートを行い，初見の文章を読んで，理解する学習を行っている。

- ・こども新聞は読んでいるか？自分が勧めているが。

→図書館には置いているが，あまり読まれていないようである。森ファームさんに寄贈していただいている朝日写真ニュースは2階廊下に掲示しており，見ている子どもたちもいる。

評価項目2「ICT活用について」(ICT担当)

- ・「ICT機器を使うのは役立つと思う」の項目が93%であったが、(7%の子が)落ちこぼれていないか。拾ってあげてほしい。
- 小学校3年生でローマ字を学ぶが、タイピングを練習しているところである。
- ・携帯、スマホの使い方であるが、入ってはいけないサイトに入ってしまったらどうしたらよいかを学習する機会はあるか?何気なしに入ったことが後を引くことがある。詐欺まがいのものにクリックしてしまうことがある。
- SNSやインターネットのネットモラルをICT支援員に指導していただいている。簡単に動画をアップすることができる時代になっているが、個人情報が出、トラブルに巻き込まれないように指導している。
- ・校務のICT化についても、(総勤務時間の縮減に向け、)「(教材等で)これはいいよ。」と教えあい、チーム井田川で情報交換して行ってほしい。
- ・週1回のパソコンの宿題については、どんな宿題を出しているのか?
- ドリルパークの問題を何時にやったかを学校で把握できるシステムになっている。「この使い方で調べておいで」と伝えたり、音読を録画したりしている。リコーダーのレコーディングもできる。また、NHK for Schoolに5分程度の動画がたくさんあり、理科や社会などは辞書代わりに使用できる。「月の満ち欠け」などは、動画を見た方がわかりやすい。視覚教材については、自宅においても視聴を促していきたい。

評価項目3「不登校について」(特別支援教育コーディネーター)

- ・不登校の子のその後の様子について、差し支えのない程度で聞かせてほしい。
- 登校できるようになったり、教育支援センターに通級したり、放課後登校していたりしている。引き続き、関係機関と連携し、支援方法を検討している。
- ・学校に行きたがらない子がいる。不登校につながる心配である。
- コロナ禍で学校を再開した時は、友達に会えてうれしいと思っていた子が多かった。そんな思いを継続させるとともに、一日の大半は授業なので、授業が楽しいと思えるような授業づくりを行いたい。
- ・無理をさせず、その子にあった教育をアドバイスしていただきたい。
- ・いじめについて、学校で言葉遣いがきついことがあった場合、第三者的なアンケートで潜在的な声を拾い上げることができたらいいと思う。
- 相手を傷つけるつもりで言ったわけではないが、結果として傷つけてしまう場合もある。学校でも、チクチク言葉をやめ、ぼかぼか言葉を話せるように指導していく。
- 家庭でもゲームの中で人を殺し、「死ぬ」を多用していると聞いている。そして、現実社会の中でも使っている。どれだけ人を傷つける言葉であるのかを振り返らせ、その都度指導している。
- ・登下校の見守りでもきつい言葉を聞くことがある。言われるとこたえる言葉があると思う。

評価項目4「地域連携について」(教頭)

- ・2年生の児童が井田川公民館を見学に来たが、おとなしかった。
- ・放課後こども教室「ちびっこ隊」では、学校から離れることで、羽根を伸ばす子もいる。
- ・朝の見守りの際も、休み明けは元気がない。金曜日は(休み前で)楽しそうである。
- ・子どもがちびっこ隊に入っているが、水鉄砲やキャンドルづくり等をして、すごく楽しみにしている。
- ・和泉町では児童数が少なくなっているが、元気に過ごしてほしいと願っている。

評価項目5「組織的な支援体制」(生徒指導担当・特支コーディネーター)

- ・教師全員が校内研修をして、高めていくことが大切である。
- ・特別な支援とは何か？身体的なことか？
→身体だけでなく、生活面や学習面等において、一人ひとりの子どもに応じた適切な指導・支援をしている。
- ・学童は、月、火曜日は、土日で休んで緊張感が緩んでしまう。宿題をする子の邪魔をしたり、他人に迷惑をかけたりする子もみられる。金曜日になると疲れて、土日が休みと思って、頑張ろうとする。
- ・授業参観の際に、一部ついていた先生はどんな先生か？
→特別支援学級籍の児童の介助員である。また、支援員と言って、学習面等の支援をする職員もいる。

【校長より】

ICTや英語学習などやるべきことがたくさんあって大変であるが、引き続き地域からの支援をいただきながら、無理をさせずに子どもたちを育てていきたい。

5 次回の学校運営協議会日程

- ・2月15日(木) 13:15～
前半は、学校保健委員会(校医、歯科医、学校薬剤師、保健委員の児童参加)
後半は、学校運営協議会(学校関係者評価のまとめ、来年度に向けて)

6 教育委員会より

・学校関係者評価のやり方を年々工夫していただいている。専門用語(協働的な学び、個別最適な学び)も説明してもらった。ぜひ来年の教育方針に反映させていきたい。成果と課題の欄が一目で分かるように、成果は○、課題は●とするなどするとより分かりやすいと思う。学校以外で見せる子どもたちの姿についても書いていただくと学校としては非常に助かる。